

特集③ 楽友会『クリーン活動』

「クリーン活動」が始まりました。

地域とのつながりを表わしたい」との思いから方との交流機会が失われても、何かしらの形でこととなりました。そうしたなか「たとえ地域の私たちが地域の皆さまの交流機会も失われることとなりまして。そうしたなか「たとえ地域の

しかし、新型コロナウイルスの蔓延とともに、これらの大きなイベントは休止を余儀なくされ、

「クリーン活動」が始まりました。

「楽友祭」は二〇〇四年から「人と人を笑顔でつなぐ」をモットーに、地域の皆さまが集い楽しめる秋祭りとして始まりました。バザーや野菜の販売、介護・福祉の体験コーナーや地域のサークル活動の発表会、ふれあい動物園、石焼き芋など、幅広い世代が季節を感じながらゆったりと楽しめるイベントとして定着してきていました。

楽友会「クリーン活動」の由来

社会福祉法人楽友会では、地域の皆さまとの交流や地域への貢献活動の一環として、毎年7月の梅雨明け頃に「納涼祭」を、そして秋の深まる11月頃に「楽友祭」を開催してきました。「納涼祭」では盆踊りや屋台、花火大会などを催し、地域の皆さまに楽しんでもらうとともに、施設ご利用者と地域の皆さまとの交流を図ってきました。



クリーン活動当日の一場面

特集③ 楽友会『クリーン活動』

昨年引き続き法人周辺のクリーン活動を実施しました。今回、主に活動を展開した場所は多摩市山王下・中沢地区の多摩ニュータウン通り沿いと八王子市松が谷地区のバス通りや鹿島地区周辺。「私たちの地域を綺麗にしよう」を合言葉に缶や瓶、ペットボトルや紙ゴミなどを拾い集めました。

11月7日(日)当日は曇り時々晴れ：絶好のクリーン活動日和。法人周辺地区は多摩ニュータウン開発によって住宅とともに歩道や緑地、公園が整備され、四季折々の自然の風景が楽しめます。写真のとおりこの時期は街路樹の紅葉がとても綺麗です。この日は総勢16名の精鋭部隊が日頃の感謝の気持ちを込めて地域美化に取り組みました。



クリーンな活動精鋭部隊 16名



3年前の『楽友祭』の様子

